

令和3年度 三重県難病医療連絡協議会議事概要

○日時

令和4年2月10日(木) 18:00~19:30

○場所

三重県吉田山会館1階 第101会議室から Web 配信

○出席者

27名

○傍聴人

なし

○概要

1. 会長、副会長選任

会長は難病診療連携拠点病院である三重大学医学部附属病院の伊井委員に決定した。

副会長は難病診療分野別拠点病院である三重病院の丹羽委員及び鈴鹿病院の南山委員に決定した。

2. 議事「三重県難病医療連絡協議会の出席委員の見直しについて」

<事務局説明>

三重県難病医療連絡協議会の出席委員の見直しについて (資料1)

<審議の結果>

- ・議案第1号のとおり、承認された。

3. 協議事項「三重県難病医療連絡協議会の今後の方向性について」

<事務局説明>

三重県難病医療連絡協議会の今後の方向性について (資料2)

<委員の意見>

- ・「鈴鹿地域難病地域ケア会議」を参考に、津地域でも同様の会議を行おうと動いていたものの、新型コロナウイルス感染症の影響で中断を余儀なくされた。医療機関が少ない地域ではしっかり取り組んでいけるかどうか疑問。牽引する役割の医療機関が要るのではないか。
- ・桑員地域では、訪問診療を受けていただく医療機関がほとんどなく、難病患者となるとさらに少ない現状がある。
- ・「鈴鹿地域難病地域ケア会議」の話聞く中で、地域レベルで難病医療提供体制を考える必要があると感じている。
- ・年配の難病患者の在宅療養が困難になってきているが、受け皿になる病院が少ない現状がある。いろんな病院や病院以外の医療機関も巻き込んで考える必要がある。

・レスパイトの対応に取り組み、受け入れの実績もある中で、一人ひとりに個別の対応が必要であることを感じている。

・難病患者対応にあたる人員も十分におらず、知識を持った職員も少ないため、難病患者の家族への説明も十分にできない状況である。地域単位のネットワークについては歓迎する。

<会長まとめ>

・各病院、地域ごとの課題が改めて浮き彫りになった。各地域の中で、在宅から連携が広がって、県全体にという流れで進めていくことができれば良いと考える。

4. 説明事項「三重県において実施している難病在宅ケア対策事業について」

<事務局説明>

三重県において実施している難病在宅ケア対策事業について (資料3)

<委員の意見>

特になし。

5. 報告事項

(1) 難病診療連携コーディネーター活動報告について (資料4)

難病診療連携コーディネーターの松田委員から報告。

(2) 三重県難病相談支援センターの取組について (資料5)

難病相談支援センターの黒川相談員から報告。